

# 6 がっひかりごう

平成 30 年 6 月 1 日 輝 保 育 園

草木の緑が、一雨ごとに濃くなってきました。幼児室の子ども達は、かたつむりを飼育はじめ、「先生！きゅうりを食べたら、緑のうんちだね！」と、生命の不思議を感じているようです。「なぜかな？」「ふしぎだな？」と感じたり、友達と共感しあう喜びを味わう事で、興味や関心を深めていきます。

## [[[ 保育参観 ]]]

前月から保育参観を行っています。

5才児、2才児が終わり、3才児が終わろうとしています。

お家の方と一緒に給食を食べる事ができ、とても嬉しそうな表情でした。

午後の個人面談では、ご家庭でのお子さんの様子を伺ったり、育ちの確認をしたりと、貴重な時間となっています。

今月は、引き続き、4才児、0才児、1才児を予定しています。

0、1才児は日頃の姿を、子ども達に気づかれない様見ていただきます。

ご家庭では見られない一場面を発見できるかもしれません。



## ＝ ナース・レポート ＝

### 【子どもの尿検査と腎疾患について】

尿検査は、子どもの腎疾患を早期に発見にて早期治療することにより腎不全（腎臓の働きを失った状態）への進行を防ぐことを目的としています。

尿は腎臓で血液が濾過されたものが尿路（尿管、膀胱、尿道）を通過して排泄されたもので、この過程に障害があると尿異常が生じます。

腎臓は症状が進行するまでは、自覚症状に乏しく、そのため発見が遅れやすいので重篤な状態を招きやすく、活動期にある子どもたちの日常生活にかなりの制限が出てしまいかねません。

先日行った検査結果はわかり次第、結果を通知します。

異常が見られた場合には、かかりつけ医に受診し、受診結果を保育園に報告をお願いします。

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ コミュニケーション ☆☆

～ 大人の関わり方（ほめ方）④ ～

2. ほめ上手な大人であるために

ポイント 6 「結果」だけでなく、過程も大切にします。

例えば、テストや試合結果だけを見て子どもを評価する。

場合によっては必要なことですが、一生懸命に頑張ってもうまくいかなこともあります。

それを結果だけでほめたり叱ったりしたのでは、「自分は受け入れられていない」と子どもは感じ、意欲も減退します。

一生懸命に頑張った過程をほめ、次への意欲付けや目標設定に生かしてください。

ポイント 7 ほめ方の工夫をする（感謝を添える、第三者の言葉を使う、…）

ほめるといっても、大げさに言う必要は何かありません。

質問した子に「今の質問はとても良かったよ！」や、お手伝いしてくれた子どもに「ありがとう。助かったよ！」と、感謝の言葉を言ったり、落ちているごみを黙って拾い、ごみ箱に捨てている子どもを見て笑顔でうなづいたりする。

そんな工夫をするのも効果的です。

「〇〇先生がすごい！って、言っていたよ」など、第三者の言葉を使うとかなり効果的です。

「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

## こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ  
0才児



あつという間に2ヵ月が過ぎました。登園時にはまだまだ涙が出てしまいますが、泣いている時間も随分と短くなり園の雰囲気、保育士に慣れてくれた様です。この2ヵ月間で保育士と子ども達との距離もぐんと近くなったように感じています。保育士の後を追う姿も見られるようになり、「抱っこして」と大きな声で伝え手を伸ばす姿もたびたび見られます。抱き抱えた時に見せてくれる笑顔を見ると嬉しくなります。低月齢児のお友だちも、寝返りが出来るようになったり、気になるおもちゃに手を伸ばすなど活発な姿が見られるようになりました。玩具を取ってほしい時はもちろん大きな声で教えてくれています。ますますにぎやかになってきた0才児さん。これからの成長が楽しみです。

たんぽぽぐみ  
1才児



同じ1才児でも、4月生まれの子と3月生まれの子では、したいことも遊び方も違います。それぞれの遊びが十分楽しめるように、高月齢児は運動場で、低月齢児はたんぽぽ園庭で遊んでいます。運動場では大人気の三輪車、ジャングルジムやウッドクライム、うんてい、吊り橋など、大きな固定遊具に挑戦し、体をたくさん動かして遊んでいます。ジャングルジムでは、一段登れるようになると、上へ上へとどんどん挑戦しています。たんぽぽ園庭では、少人数で遊ぶことができ、歩き始めの子たちも、遊具やフェンスに掴まり、つたい歩きをしたり、遊具の間をバランスを取りながら歩きまわったりする姿も見られます。小さな滑り台に自分でよじ登ろうとする子も出てきました。今月は、9月～12月生まれの子たちも、数人ずつ運動場にも遊びに行こうと考えています。

すみれぐみ  
2才児



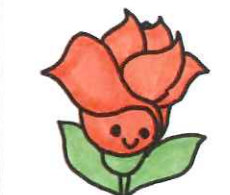
保育参観へのご参加ありがとうございました。基本的な生活習慣の確立を目指し、子どもの姿を共有しながら、一緒に頑張っていきましょう！天気の良い日は戸外で体をたくさん動かして遊んでいます。砂場では砂の感触を楽しみながら、型抜きで色々な形を作り、それをケーキやアイスクリームなどに見立て、ごっこ遊びが始まります。「はい、どうぞ」、「おいしいね」など、言葉のやり取りを楽しむ一方で、まだ、上手に自分の思いを言葉で表現できず、喧嘩になってしまう姿も見られます。このような友達同士のトラブルを通し、集団生活でのルールや社会性を学んでいきます。保育士が仲立ちとなり、夫々の思いを代弁することで、友達への思いに気づき、言葉のやり取りや一緒に遊ぶ楽しさを育んでいきます。

ちゅうりっぷぐみ  
3才児



暑い日には水遊びを行い、着脱における現在の状況を確認しました。時折「下着がない…」、「袋がない…」と泣きながら保育士の元へくる子もいますが、困った時には、言葉で知らせてくれています。衣服の前後を自分で見極める事は難しいようで、課題としてでてきました。脱いだ服を畳んで袋に入れる事、袋は結んでバックにしまう事、バックのチャックもきちんと閉めることなど、必要なことを伝えると頑張っており組んでいます。今後は、細かな点を含め、着脱に関する必要事項を自分で意識するところから始め、一連の流れとして身につけていくことが目標です。毎日の積み重ねが大きな成果に繋がります。子ども達の持つ「自分でしよう」という頼もしい程の気持ちを、ご家庭と園の両方で時間をかけ大切に守っていきましょう。

ばらぐみ  
4才児



「ドッジボールしたい」と子どもたちから遊びの提案がありました。「したい」と満場一致。チームや外野、先攻、後攻もすべて自分達で決めます。一人の男の子が「みんな並んで」とリードします。すると、周りの子どもたちが1列に並び始めました。更に、並んでいた子ども達がまだ並んでいない友達に「並んで」と声を掛けます。「赤、白、赤、白…」と順にチーム分けが行われ、「～が外野ね」など話し合っています。見事な連携プレー。前回のうまくなかった経験から学び、次に活かそうとする力をしっかりと発揮していました。個人、集団両方の面で「自律」に向かう芽が伸び始めているようです。自律を支える根っこを強く太くしていく為、今後もうまくなかった経験から学ぶという事により多くの時間をかけ保育を進めていきます。

ひまわりぐみ  
5才児



進級して2ヵ月が経ち、年長児の生活にも慣れて楽しく過ごしています。特に当番活動に意欲的で、自分に任された仕事を一生懸命果たしています。先日、ひまわり組が5月の誕生会の司会と出し物をしました。練習の時は誕生児の名前を覚えられない子や恥ずかしくて大きな声が出ない子がいましたが、練習を重ねるごとに自信が付き、誕生会では堂々と司会をすることができました。保育参観で見ていただいたように、集中力の持続や活動に取り組む姿勢に個人差が大きいクラスです。真剣に取り組む時は最後まで真剣に、楽しく遊ぶ時には大いに楽しむ、といったように気持ちの切り替えをしてほしいと願っています。また、運動会へ向けて鼓隊、剣道、体育に取り組んでいます。夫々が自分の目標に向かって努力する姿をしっかりと認めながら活動を進めていきます。

## ＝ 6月の行事予定 ＝

7日(木) 避難訓練

22日(木) 身体測定、お誕生会